

「今はミニトマトのさいばいがさかんになっています。」

と先生がおっしゃいました。そこで、農家のおじさんの話を聞くことにしました。



ビニールハウスとミニトマト



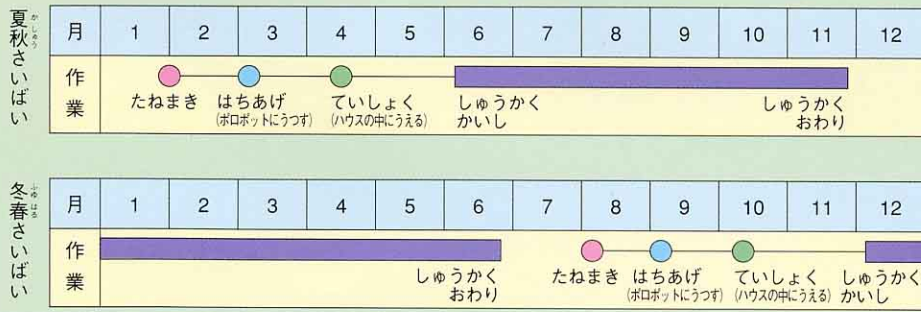
農家のおじさんの話

ミニトマトは古殿町で多くさいばいされるようになっていきます。さいばいには「夏秋さいばい」と「冬春さいばい」の2つの方法があり、一年中さいばいして、しゅうかくできるようにしています。

ビニールハウスの中でさいばいするため、温度や光をいつも同じくすることができるので、同じようなミニトマトをつくることができます。また、黄色いミニトマトをつくろうとどりよくやくふうをしています。

古殿町でさいばいされたミニトマトは福島市やいわき市、県外では東京や横浜のほうにおくられています。

今は38けんの農家がさいばいしていますが、これからもっとふやして今よりもずっとさかんにする計画を立てています。



ミニトマトのさいばいごよみ